

天気図情報 XML の解説

天気図情報は、等圧線が通る位置や高低気圧の位置および海上における悪天予想情報等を緯度経度データで格納しており、実況天気図および予想天気図を拡大縮小等の編集可能なベクトルデータとして提供する事を目的とする。本書では、データ構造に従って「提供範囲」「全体構成」「各部の構成と内容」「実例」に分けて解説を行う。

0. 提供範囲

各天気図情報の提供範囲は以下の通りである

情報名称	提供範囲
地上実況図、地上 2 4 時間予想図、地上 4 8 時間予想図	図 1 の「速報天気図の提供領域」
アジア太平洋地上実況図	図 1 の「アジア太平洋地上天気図の提供領域」
アジア太平洋海上悪天 2 4 時間予想図、 アジア太平洋海上悪天 4 8 時間予想図	高低気圧の位置や等圧線・前線の位置等は、図 1 の「アジア太平洋地上天気図の提供領域」 強風域や霧域などの悪天情報は、図 1 の「悪天情報の提供領域」

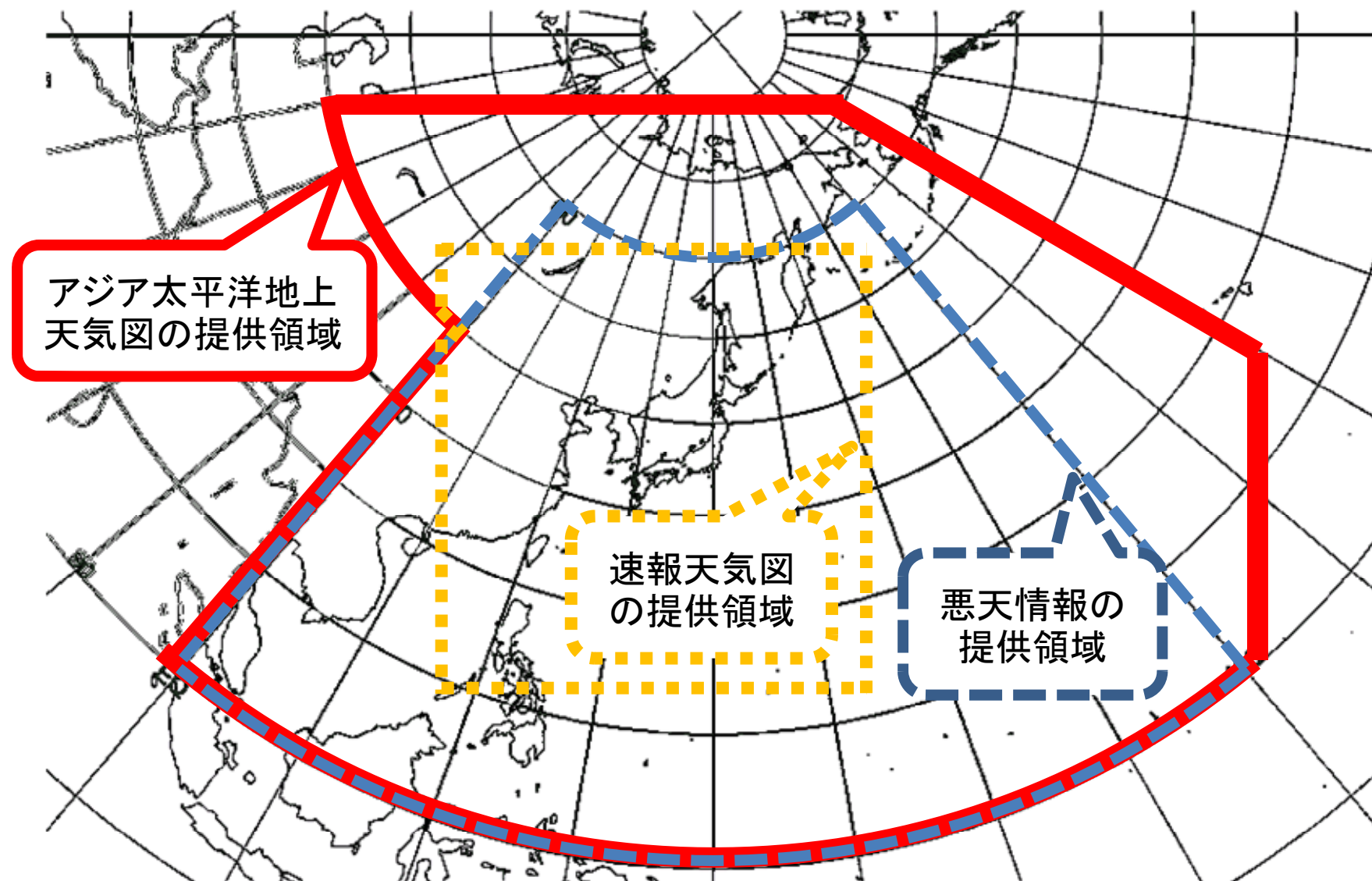


図1. 領域図

1. 全体構成

天気図情報XMLは、大きく分けて「管理部」「ヘッダ部」「ボディ部」の3つの構成からなる。

タグ	解説
Report	
@xmlns	http://xml.kishou.go.jp/jmaxml1/
@xmlns:jmx	http://xml.kishou.go.jp/jmaxml1/
@xmlns:jmx_add	http://xml.kishou.go.jp/jmaxml1/addition1/
Control	管理部 *Control 部の詳細を参照
Head	ヘッダ部 *Head 部の詳細を参照
@xmlns	http://xml.kishou.go.jp/jmaxml1/informationBasis1/
@xmlns:jmx_eb	http://xml.kishou.go.jp/jmaxml1/elementBasis1/
Body	ボディ部 *Body 部の詳細を参照
@xmlns	http://xml.kishou.go.jp/jmaxml1/body/meteorology1/
@xmlns:jmx_eb	http://xml.kishou.go.jp/jmaxml1/elementBasis1/

2. 各部の構成と内容

(1) Control 部の詳細

Control 部については、他の気象庁XMLとほぼ同様の構造となっている。

タグ	解説
Control	
Title	情報名称。“地上実況図”“地上24時間予想図”“地上48時間予想図”“アジア太平洋地上実況図”“アジア太平洋海上悪天24時間予想図”“アジア太平洋海上悪天48時間予想図”のいずれかを記す。
DateTime	発表時刻。“2010-05-19T02:03:15Z”のように協定世界時で記す。
Status	運用種別。“通常”“訓練”“試験”のいずれかを記す。“訓練”“試験”は正規の情報として利用してはならないことを示す。
EditorialOffice	編集官署名。“気象庁本庁”で固定。
PublishingOffice	発表官署名。“気象庁予報部”で固定。

(2) Head 部の詳細

Head 部についても、他の気象庁XMLとほぼ同様の構造となっている。

タグ	解説
Title	標題。“地上実況図”“地上24時間予想図”“地上48時間予想図”“アジア太平洋地上実況図”“アジア太平洋海上悪天24時間予想図”“アジア太平洋海上悪天48時間予想図”のいずれかを記す。
ReportDateTime	発表時刻。“2012-01-10T05:00:00+09:00”のように日本標準時で記す。
TargetDateTime	基点時刻。“2012-01-10T03:00:00+09:00”のように日本標準時で記す。Titleが“地上実況図”“アジア太平洋地上実況図”であれば、観測日時刻、“地上24時間予想図”“地上48時間予想図”“アジア太平洋海上悪天24時間予想図”“アジア太平洋海上悪天48時間予想図”であれば数値予報初期値時刻を示す。
EventID	値は記述しない(空タグとする)。
InfoType	情報形態。“発表”“訂正”“取消”のいずれかを記す。
Serial	値は記述しない(空タグとする)。
InfoKind	スキーマの運用種別情報。“天気図情報”で固定。
InfoKindVersion	スキーマの運用種別情報のバージョン。本解説のバージョン番号は“1.1_1”。
Headline	見出し要素。
Text	値は記述しない(空タグとする)。

(3) Body 部の詳細

Body 部の Item タグ 1 つに対して 1 つの天気図要素を格納する。Item 以下は、ここでは概要のみとし、詳細は (4) 内容部詳細で示す。

タグ	解説
Meteorological Infos	高低気圧や前線等の“天気図情報”と“悪天情報”は、異なる Meteorological Infos で示す。
@type	“天気図情報”または“悪天情報”と記す。
Meteorological Info	
DateTime	天気図の対象となる時刻を、“2011-12-18T12:00:00+09:00”のように日本標準時で記す。例えば type が“予想 24 時間後”の場合は数値予報初期時刻から 24 時間後の時刻を示す。
@type	“実況”“予想 24 時間後”“予想 48 時間後”のいずれかを記す。
Item	このタグ 1 つに対して 1 つの天気図要素または悪天情報要素を格納する。詳細は、(4) で示す。
Kind	
Name	Meteorological Infos@type=“天気図情報”の場合は、このタグを省略する。 Meteorological Infos@type=“悪天情報”の場合は、悪天情報の種類“悪天情報(強風)”“悪天情報(霧)”“悪天情報(海氷)”“悪天情報(船体着氷)”のいずれかを記す。
Property	Meteorological Infos@type=“天気図情報”の場合、及び、Meteorological Infos@type=“悪天情報”で Item/Kind/Name=“悪天情報(強風)”の場合に出現する。 Meteorological Infos@type=“悪天情報”で Item/Kind/Name=“悪天情報(霧)”“悪天情報(海氷)”“悪天情報(船体着氷)”の場合はこのタグを省略する。
Type	天気図要素名等。“台風”“熱帯低気圧”“低気圧”“高気圧”“低圧部”“前線”等の天気図要素の種類もしくは悪天情報の“風”、または“風”“呼称”“階級”等の要素を修飾する種別のいずれかを記す。
xxxPart	要素がもつ内容。Type により、“CenterPart”“WindSpeedPart”“TyphoonNamePart”“ClassPart”“CoordinatePart”“IsobarPart”“WindPart”のいずれか 1 つを持つ。
Area	Meteorological Infos@type=“悪天情報”の場合に出現し、悪天情報の対象領域を示す。Item/Kind/Name=“悪天情報(強風)”の場合、強風を表現する対象海上地点 (Name と Coordinate) を示す。Item/Kind/Name=“悪天情報(霧)”の場合、対象多角形領域 (Name と Polygon) または対象海域 (Name と Code) を示す。Item/Kind/Name=“悪天情報(海氷)”または“悪天情報(船体着氷)”の場合、対象格子 (0.5 度四方の領域) (Name と Coordinate) を示す。

@codeType	Item/Kind/Name=“悪天情報（霧）”において、海域を対象とする場合に“全般海上海域名”と記す。対象領域をCodeで示さない場合は省略する。
Name	悪天情報の対象領域名。 Item/Kind/Name=“悪天情報（霧）”において、海域を対象とする場合は海域名（「日本海」「オホーツク海」等）を、多角形領域を対象とする場合は“霧域”と記す。また、Item/Kind/Name=“悪天情報（強風）”においては“強風域”、Item/Kind/Name=“悪天情報（海氷/船体着氷）”においては“海氷域/船体着氷域”と記す。
Code	悪天情報の対象領域コード。 Item/Kind/Name=“悪天情報（霧）”において、海域を対象とする場合は対応するコードを記す。全般海上海域名“AreaMarineA”コード表が対応する。
jmx_eb:Polygon	悪天情報の対象多角形領域。 Item/Kind/Name=“悪天情報（霧）”において対象多角形領域を示す場合に、領域を囲む多角形の頂点を緯度経度で示す。
jmx_eb:Coordinate	悪天情報の対象緯度経度値を示す。Item/Kind/Name=“悪天情報（強風）”の場合は、強風を表現する対象海上地点を、Item/Kind/Name=“悪天情報（海氷）”または“悪天情報（船体着氷）”の場合は、対象格子の北西端の位置を、緯度経度で示す。

(4) 内容部詳細

Item 部は、天気図要素及び悪天情報の数だけ繰り返す。

①要素が“低気圧”“高気圧”“熱帯低気圧”“低圧部”のとき

タグ	解説
Item	要素詳細があるだけ Item 部を繰り返す。
Kind	これらの天気図要素では、要素がもつ内容は1つで、CenterPart のみ。
Property	
Type	天気図要素名“低気圧”“高気圧”“熱帯低気圧”“低圧部”のいずれかを記す。
CenterPart	中心情報 *CenterPart の詳細を参照。

ア. CenterPart の詳細

タグ	解説
CenterPart	
jmx_eb:Coordinate	中心位置。擾乱の中心位置緯度経度を“+31.7+134.7/”等と記す。
@type	“中心位置(度)”と示す。
@condition	Type=“低圧部”の場合、“付近”と記す。それ以外の場合は@condition は省略する。
jmx_eb:Direction	移動方向。擾乱の移動方向を北を360度とした方位で“310”等と示す。ほとんど停滞しており、方向が定まらない時には、空タグとする。
@type	“移動方向”と記す。
@unit	“度(真方位)”と記す。
@condition	方向が定まらない時に“不定”と記す。それ以外の場合は@condition は省略する。
jmx_eb:Speed	移動速度。属性の unit が“km/h”の場合は、1時間に進む距離(km)を“25”等と示す。ほとんど停滞、あるいは、ゆっくり移動している場合は、空タグとする。
@type	“移動速度”と記す。
@unit	“km/h”と記す。

@description	“30 km/h”や“ほとんど停滞”、“ゆっくり”などと記す。地上24時間予想図などの予想図では移動速度が無い ため省略する。
jmx_eb:Speed	移動速度。属性のunitが“ノット”の場合は、1時間に進む距離（海里）を“10”等と記す。
@type	“移動速度”と記す。
@unit	“ノット”と記す。
@description	“15KT”や“ALMOST STNR”などと記す。地上24時間予想図などの予想図では移動情報が無い ため省略する。
jmx_eb:Pressure	中心気圧。擾乱の中心気圧を“980”等と記す。
@type	“中心気圧”と記す。
@unit	“hPa”と記す。

②要素が“台風”のときは、要素が持つ内容が複数あり、Kind以下のタグが並列に存在する

タグ	解説
Item	要素詳細があるだけItem部を繰り返す。
Kind	
Property	
Type	天気図要素名“台風”と記す。
CenterPart	中心情報 * “低気圧” “高気圧” 等と同じでCenterPartの詳細を参照。
Kind	
Property	
Type	要素名“風”と記す。
WindSpeedPart	最大風速 *WindSpeedPartの詳細を参照。
Kind	
Property	
Type	要素名“呼称”と記す。ハリケーン及び実況で台風となっていない場合の予想図では空タグ。
TyphoonNamePart	台風名称 *TyphoonNamePartの詳細を参照。ハリケーン及び実況で台風となっていない場合の予想図では空タグ。
Kind	
Property	
Type	要素名“階級”と記す。
ClassPart	台風階級 *ClassPartの詳細を参照。

ア. WindSpeedPart の詳細

タグ	解説
WindSpeedPart	
jmx_eb:WindSpeed	最大風速。属性の unit が “m/s” の場合は、風速（メートル）を “18” 等と記す。
@type	“最大風速” と記す。
@unit	“m/s” と記す。
jmx_eb:WindSpeed	最大風速。属性の unit が “ノット” の場合は、風速（ノット）を “35” 等と記す。
@type	“最大風速” と記す。
@unit	“ノット” と記す。

イ. TyphoonNamePart の詳細

タグ	解説
TyphoonNamePart	
Name	台風英名。“WASHI” 等と記す。台風委員会が定める呼名 “DAMREY” ~ “SAOLA” (CREX 表 B19209 に示すものと同じ。)、域外から入る熱帯低気圧の呼称、または記述なし（空タグ）。
NameKana	台風かな名。“ワシ” 等と記す。台風委員会が定める呼名に対応したカタカナ表記 “ダムレイ” ~ “サオラー” (CREX 表 B19209 に示すものと同じ。)、域外から入る熱帯低気圧の呼称のカタカナ表記、または記述なし（空タグ）。
Number	台風番号。西暦の下2桁と通年の台風番号の4桁で “1205” 等と記す。

ウ. ClassPart の詳細

タグ	解説
ClassPart	
jmx_eb:TyphoonClass	台風階級。“台風 (TS)” “台風 (STS)” “台風 (TY)” “ハリケーン (HR)” “発達した熱帯低気圧 (Tropical Storm)” のいずれかを記す。
@type	“熱帯擾乱種類” と記す。

要素が“等圧線”のとき

タグ	解説
Item	要素詳細があるだけItem部を繰り返す。
Kind	この天気図要素では、要素がもつ内容は1つで、IsobarPartのみ。
Property	
Type	天気図要素名“等圧線”と記す。
IsobarPart	等圧線の情報 *IsobarPartの詳細を参照。

ア. IsobarPartの詳細

タグ	解説
IsobarPart	
jmx_eb:Pressure	等圧線の示度。等圧線がもつ値を示す。
@type	“気圧”と記す。
@unit	“hPa”と記す。
jmx_eb:Line	等圧線が通る位置の情報。“+41.56+163.76/+41.56+163.76/+41.57+163.76/”等として、等圧線を構成する連続点の緯度経度を示す。
@type	“位置(度)”と記す。

要素が“寒冷前線”“温暖前線”“停滞前線”“閉塞前線”のとき

タグ	解説
Item	要素詳細があるだけItem部を繰り返す。
Kind	これらの天気図要素では、要素がもつ内容は1つで、CoordinatePartのみ。
Property	
Type	天気図要素名“寒冷前線”“温暖前線”“停滞前線”“閉塞前線”のいずれかを記す。
CoordinatePart	前線の情報 *CoordinatePartの詳細を参照。

ア. CoordinatePartの詳細

タグ	解説
CoordinatePart	
jmx_eb:Line	前線が通る位置の情報。“+33.75+176.80/+33.80+176.91/+33.85+177.02/”等として、前線を構成する連続点の緯度経度を示す。
@type	“前線(度)”と記す。
@condition	前線の属性情報がある場合 “発生しつつある” “解消しつつある”と記し、属性情報が無い場合は省略する。

要素が“悪天情報（強風）”のとき

タグ	解説
Item	<p>予想される強風を表現する位置を示す。なお、この情報は、対象地点の1点のみに関する情報ではなく、周辺領域を代表して表現するものである。海上悪天 24/48 時間予想図（FSAS24/48）（参考：図2）と同等の矢羽根を描画できるような位置情報を格納している。</p> <p>強風を表現する地点の数だけ Item 部を繰り返す。</p>
Kind	
Name	悪天情報要素名“悪天情報（強風）”と記す。
Property	
Type	悪天情報“風”と記す。
WindPart	対象海上地点の風向・風速の情報 *WindPart の詳細を参照。
Area	
Name	“強風域”と記す。
Coordinate	対象海上地点の位置を緯度経度で示す。*Coordinate の詳細を参照

ア. WindPart の詳細

タグ	解説
WindPart	
jmx_eb:WindDegree	対象海上地点の風向を示す。
@type	“風向”と記す。
@unit	“度（真方位）”と記す。
jmx_eb:WindSpeed	対象海上地点の風速を示す。
@type	“風速”と記す。
@unit	“ノット”と記す。

イ. Coordinate の詳細

タグ	解説
jmx_eb:Coordinate	対象海上地点の位置を緯度経度で示す。
@type	“位置（度）” と記す。

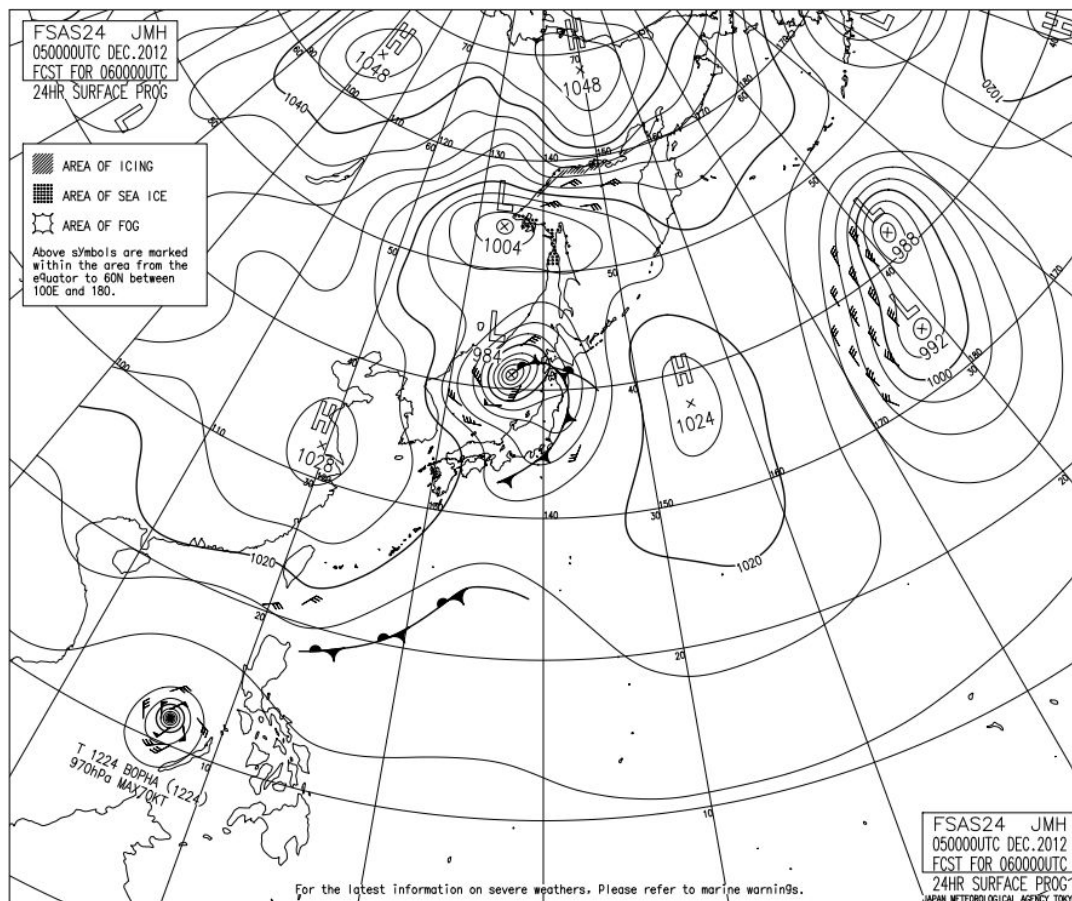


図 2. FSAS の例

⑥要素が“悪天情報（霧）”のとき

タグ	解説
Item	霧が予想される領域または海域の情報を示す。 要素詳細があるだけItem部を繰り返す。
Kind	
Name	悪天情報要素名“悪天情報（霧）”と記す。
Area	対象領域または海域の情報を示す。 *Areaの詳細を参照。

ア. Areaの詳細（対象多角形領域を示す場合）

タグ	解説
Area	
Name	“霧域”と記す。
jmx_eb:Polygon	対象領域を囲む多角形の頂点を緯度経度で示す。始点と終点は一致する。
@type	“位置（度）”と記す。

イ. Areaの詳細（対象海域を示す場合）

タグ	解説
Area	
@codeType	“全般海上海域名”と記す。
Name	「日本海」「オホーツク海」等の海域名を記す。
Code	対象海域のコード番号を記す。コード番号は、全般海上警報の海域コード（code.AreaMarineA）を用いる。

⑦要素が“悪天情報（海氷）”または“悪天情報（船体着氷）”のとき

タグ	解説
Item	海氷または船体着氷が予想される領域の情報を示す。
Kind	
Name	悪天情報要素名“悪天情報（海氷）”または“悪天情報（船体着氷）”と記す。
Area	海氷域または船体着氷域の情報 *Areaの詳細を参照。

ア. Areaの詳細

タグ	解説
Area	
Name	“海氷域”または“船体着氷域”と記す。
jmx_eb:Coordinate	北緯 60 度、東経 100 度を端点とした 0.5 度四方の各格子内において、海氷または船体着氷が予想される格子の北西端の緯度経度値を列挙する。“+46.0+161.5/+46.0+162.0/+46.0+162.5/+46.0+163.0/”等と記す。
@type	“領域（度）”と記す。

3. 実例

天気図情報XMLの記述例

3. 1 Control Head 部の例

3. 2 Body 部の例

3. 2. 1 Body 部詳細 (高気圧の例)

3. 2. 2 Body 部詳細 (台風の例)

3. 2. 3 Body 部詳細 (前線の例)

3. 2. 4 Body 部詳細 (等圧線の例)

3. 2. 5 Body 部詳細 (悪天情報 (強風) の例)

3. 2. 6 Body 部詳細 (悪天情報 (霧) の例)

3. 2. 7 Body 部詳細 (悪天情報 (海氷/船体着氷) の例)

3. 1 Control Head 部の例

例	解説
<pre><Control> <Title>地上実況図</Title> <DateTime>2011-12-18T02:05:13Z</DateTime> <Status>通常</Status> <EditorialOffice>気象庁本庁</EditorialOffice> <PublishingOffice>気象庁予報部</PublishingOffice> </Control> <Head xmlns="http://xml.kishou.go.jp/jmaxml1/informationBasis1/" xmlns:jmx_eb="http://xml.kishou.go.jp/jmaxml1/elementBasis1/"></pre>	発表時刻を記述 (協定世界時)

<pre> <Title>地上実況図</Title> <ReportDateTime>2011-12-18T11:05:13+09:00</ReportDateTime> <TargetDateTime>2011-12-18T09:00:00+09:00</TargetDateTime> <EventID/> <InfoType>発表</InfoType> <Serial></Serial> <InfoKind>天気図情報</InfoKind> <InfoKindVersion>1.1_1</InfoKindVersion> <HeadLine> <Text/> </HeadLine> </Head> </pre>	<p>発表時刻を記述（日本標準時）</p> <p>基点となる時刻を記述（日本標準時）。例は12月18日09時JSTの実況図 値は記述しない</p> <p>値は記述しない</p> <p>値は記述しない</p>
---	---

3. 2 Body 部の例

例	解説
<pre> <Body xmlns="http://xml.kishou.go.jp/jmaxml1/body/meteorology1/" xmlns:jmx_eb="http://xml.kishou.go.jp/jmaxml1/elementBasis1/"> <MeteorologicalInfos type="天気図情報"> <MeteorologicalInfo> <DateTime type="予想 24時間後">2011-12-18T21:00:00+09:00</DateTime> <Item> <Kind> <Property> <Type>台風</Type> </pre>	<p>天気図の対象となる時刻 type が“ 予想 24時間後 ”なので、12月17日21時初期時刻で12月18日21時JST対象の予想図を示している。</p> <p>Item 以下は3. 2. 1以後を参照</p>

3. 2. 1 Body 部の詳細例（高気圧の例）

詳細例として要素が高気圧の例を示す。低気圧・熱帯低気圧・低圧部は Type タグ内が異なるだけで、同様の構造をもつ

例	解説
<pre> <Item> <Kind> <Property> <Type>高気圧</Type> <CenterPart> <jmxEb:Coordinate type="中心位置（度）">+34.39+118.37</jmxEb:Coordinate> <jmxEb:Direction unit="度（真方位）" type="移動方向">120</jmxEb:Direction> <jmxEb:Speed unit="km/h" description="ゆっくり" type="移動速度" ></jmxEb:Speed> <jmxEb:Speed unit="ノット" description="S L W" type="移動速度"></jmxEb:Speed> <jmxEb:Pressure unit="hPa" type="中心気圧">1032</jmxEb:Pressure> </CenterPart> </Property> </Kind> </Item> </pre>	<p>天気図要素の種別を示す。</p> <p>中心緯度経度</p> <p>移動方向を360方位で示す。</p> <p>移動速度は、km/hとノットを併記する。unit属性で判断する。</p> <p>中心気圧を示す。</p>

3. 2. 2 Body 部の詳細例（台風の例）

詳細例として要素が台風の例を示す。高気圧などとは異なり、風速や台風階級を示す為に Kind タグが複数存在する。CenterPart の箇所は高気圧等と同じ構造となっている。

例	解説
<pre> <Item> <Kind> <Property> <Type>台風</Type> <CenterPart> <jmx_eb:Coordinate type="中心位置（度）">+10.2+115.0</jmx_eb:Coordinate> <jmx_eb:Direction unit="度（真方位）" type="移動方向">270</jmx_eb:Direction> <jmx_eb:Speed unit="km/h" description="25 km/h" type="移動速度">25</jmx_eb:Speed> <jmx_eb:Speed unit="ノット" description="13 K T" type="移動速度">13</jmx_eb:Speed> <jmx_eb:Pressure unit="hPa" type="中心気圧">1000</jmx_eb:Pressure> </CenterPart> </Property> </Kind> <Kind> <Property> <Type>風</Type> <WindSpeedPart> </pre>	<p>天気図要素の種別を示す。台風。</p> <p>CenterPart 以下は高気圧などと同じ構造</p> <p>中心緯度経度</p> <p>移動方向を 360 方位で示す。</p> <p>移動速度は、km/h 単位表現とノット単位表現を併記する。これらは unit 属性で判断する。</p> <p>中心気圧を示す。</p> <p>続いて、台風の最大風速を記述する。</p> <p>最大風速を記述する事を示す Type タグ</p>

<pre> <jmx_eb:WindSpeed unit="m/s" type="最大風速">18</jmx_eb: WindSpeed> <jmx_eb:WindSpeed unit="ノット" type="最大風速">35</jmx_ eb:WindSpeed> </WindSpeedPart> </Property> </Kind> <Kind> <Property> <Type>呼称</Type> <TyphoonNamePart> <Name>WASHI</Name> <NameKana>ワシ</NameKana> <Number>1121</Number> </TyphoonNamePart> </Property> </Kind> <Kind> <Property> <Type>階級</Type> <ClassPart> <jmx_eb:TyphoonClass type="熱帯擾乱種類">台風（TS）</j mx_eb:TyphoonClass> </ClassPart> </Property> </pre>	<p>最大風速は、m/s 単位表現とノット単位表現を併記する。これらは unit 属性で判断する。</p> <p>続いて、台風名を記述する。Type タグ及び TyphoonNamePart タグは、ハリケーン及び実況で台風になっていない場合の予想図では空タグとなる。 台風名を記述する事を示す Type タグ</p> <p>英字での台風名を記述する。 かなでの台風名を記述する。 発生した西暦 2 桁 + 台風番号を記述する。</p> <p>続いて台風階級を記述する。 台風階級を記述する事を示す Type タグ</p> <p>台風またはハリケーンの種別を示す。最大風速によって種別分けした階級も併記し、“台風（TS）”“台風（STS）”“台風（TY）”“ハリケーン（HR）”“発達した熱帯低気圧（Tropical Storm）”とする。</p>
--	--

</Kind> </Item>	
--------------------	--

3. 2. 3 Body 部の詳細例（前線の例）

詳細例として要素が前線の例を示す。前線の種類には“寒冷前線”“温暖前線”“閉塞前線”“停滞前線”がある

例	解説
<pre><Item> <Kind> <Property> <Type>寒冷前線</Type> <CoordinatePart> <jmx_eb:Line condition="発生しつつある" type="前線(度)" >+29.57+175.95/+29.61+176.05/+29.65+176.16/+29.69+176.26/+29.73+ 176.36/+29.77+176.46/+29.81+176.57/ ... +54.63-151.67/+54.75-15 1.65/</jmx_eb:Line> </CoordinatePart> </Property> </Kind> </Item></pre>	<p>天気図要素の種別を示す。寒冷前線</p> <p>前線が通る点の緯度経度を示す。 condition 属性は、“発生しつつある”か“解消しつつある”で、寒冷・温暖といった前線の種類とは別に前線の属性を示す。</p>

3. 2. 4 Body 部の詳細例（等圧線の例）

詳細例として要素が等圧線の例を示す。

例	解説
<pre><Item> <Kind> <Property></pre>	

<pre> <Type>等圧線</Type> <IsobarPart> <jmx_eb:Pressure unit="hPa" type="気圧">1044</jmx_eb:Pressure> <jmx_eb:Line type="位置(度)">+46.94+096.88/+47.02+096.71 ... +46.88+097.07/+46.94+096.88</jmx_eb:Line> </IsobarPart> </Property> </Kind> </Item> </pre>	<p>天気図要素の種別を示す。等圧線</p> <p>等圧線の示度を示す。この例では、1044 hPa の等圧線。</p> <p>等圧線が通る点の緯度経度を示す。</p>
---	--

3. 2. 5 Body 部の詳細例（悪天情報（強風）の例）

詳細例として要素が悪天情報（強風）の例を示す。この要素が出現するのは、アジア太平洋海上悪天 24/48 時間予想図のみである。

例	解説
<pre> <Item> <Kind> <Name>悪天情報(強風)</Name> </Kind> <Kind> <Property> <Type>風</Type> <WindPart> <jmx_eb:WindDegree unit="度(真方位)" type="風向">10</jmx_eb:WindDegree> <jmx_eb:WindSpeed unit="ノット" type="風速">35</jmx_eb:WindSpeed> </WindPart> </Property> </Item> </pre>	<p>悪天情報の種別を示す。</p> <p>対象海上地点の風向を示す。</p> <p>対象海上地点の風速を示す。</p>

<pre> </WindPart> </Property> </Kind> <Area> <Name>強風域</Name> <jmx_eb:Coordinate type="位置 (度)">56.2+162.3</jmx_eb:C oordinate> </Area> </Item> <Item> . . . </Item> </pre>	<p>対象海上地点の位置を緯度経度で示す。</p> <p>強風を表現する地点の数だけ Item 部を繰り返す。</p>
--	---

3. 2. 6 Body 部の詳細例（悪天情報（霧）の例）

詳細例として要素が悪天情報（霧）の例を示す。この要素が出現するのは、アジア太平洋海上悪天 24 時間予想図のみである。

例	解説
<pre> <Item> <Kind> <Name>悪天情報（霧）</Name> </Kind> <Area> <Name>霧域</Name> <jmx_eb:Polygon type="位置 (度)">+56+162/+60+180/+48+150/+5 6+162</jmx_eb:Polygon> </Area> </Item> <Item> . . . </Item> <Item> </pre>	<p>対象多角形領域の頂点の緯度経度を示す。</p> <p>対象領域の数だけ Item 部を繰り返す。</p>

<pre> <Kind> <Name>悪天情報（霧）</Name> </Kind> <Area codeType= " 全般海上海域名 " > <Name>日本海</Name> <Code>9010</Code> </Area> </Item> <Item> . . . </Item> </pre>	<p>「日本海」を対象とした悪天情報であることを示す。 海域コードを示す。</p> <p>対象海域の数だけ Item 部を繰り返す。</p>
--	--

3. 2. 7 Body 部の詳細例（悪天情報（海氷/船体着氷）の例）

詳細例として要素が悪天情報（海氷/船体着氷）の例を示す。この要素が出現するのは、アジア太平洋海上悪天 24/48 時間予想図のみである。

例	解説
<pre> <Item> <Kind> <Name>悪天情報（船体着氷）</Name> </Kind> <Area> <Name>船体着氷域</Name> <jmx_eb:Coordinate type="領域（度）">+46.0+161.5/+46.0+162.0/+46.0+162.5/+46.0+163.0/+46.0+163.5/+46.0+164.0/+46.0+164.5/+45.5+144.5/+45.5+146.0/</jmx_eb:Coordinate> </Area> </Item> </pre>	<p>悪天情報（海氷）と悪天情報（船体着氷）の構造は同一。それぞれ異なる Item タグに出力する。</p> <p>悪天情報の種別を示す。“悪天情報（海氷）”または“悪天情報（船体着氷）”と記す。</p> <p>“海氷域”または“船体着氷域”と記す。</p> <p>海氷または船体着氷が予想される格子の北西端の緯度経度値を列挙する。</p>